

【教員用】いじめ対応セルフチェックシート

それぞれの項目について、「はい」と答えられれば、「✓」（している・できている）を入れてください。

「✓」の入らなかった項目については、自身で別添の資料で確認したり、学校全体で話し合ったりしてください。

<基本認識など>

- 1 いじめは重大な人権侵害であるという認識を持っている。
- 2 いじめとはどのような行動・言動なのか（いじめの定義）を理解している。
- 3 「いじめはどの子どもにも起こりうる」という認識を持っている。
- 4 学校の「いじめ防止基本方針」の内容を、毎年度確認している。
- 5 「校内いじめ対応マニュアル」にある適切な対処などを理解し、実行している。
- 6 気になることがあったときには、一人で抱え込まず、他の先生や管理職に相談している。
- 7 「いじめが解消している状態」とはどのような状態であるか理解している。
- 8 いじめにかかる研修会等に積極的に参加し、資質向上に努めている。

<未然防止>

- 9 「いじめは決して許されない」ことを様々な機会に子どもに発信している。
- 10 いじめについて考えさせる授業や機会を学期に何度か設定している。
- 11 コミュニケーション能力を育み、互いに認め合える集団づくりや授業をしている。
- 12 携帯電話やインターネットとの正しい向き合い方を計画的に指導している。
- 13 自らの言動が、いじめを助長することがないように意識している。

<早期発見>

- 14 すべての子どもの気持ちや状況を把握する工夫をしている。
- 15 子どもの小さな変化や気になる言動をいじめではないかと考え、積極的に認知している。
- 16 子どもが相談しやすい雰囲気づくりに努めている。
- 17 情報（アンケートの結果等）を他の教員等と共有し、適切に保管している。

<発生時の対応>

- 18 被害を受けている子どもの気持ちを理解し、守ることを第一に考え、行動している。
- 19 いじめを発見したり、相談を受けたりした場合、迅速に組織で対応している。
- 20 いじめの訴えから、事実の調査をする際、情報収集すべき内容（いつ・どこで・だれが・なぜ・どのように等）を理解している。
- 21 聞き取りなどを行う際、子ども個別の事情やその場の状況等を配慮している。
- 22 いじめの対応について連携できる関係機関・専門機関とそれぞれの役割について理解している。
- 23 被害側・加害側とも保護者に対して、いじめの事実や今後の方針等、丁寧に説明、対応している。

<重大事態への対応>

- 24 どのような事態が「重大事態」にあたるかを理解している。
- 25 いじめ重大事態の認定や調査委員会に関する事項などについて理解している。